

平成28年度  
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI  
(研究成果の社会還元・普及事業)  
実施報告書

HT28012 プログラム名 DNA鑑定団2



開催日：平成28年7月30日(土)

実施機関：岩手大学

(実施場所) (岩手大学理工学部総合教育研究棟(化学系)100室)

実施代表者：荒木 功人

(所属・職名) (岩手大学理工学部・准教授)

受講生：高校生18名

関連URL：<http://www.se.iwate-u.ac.jp/news/2008>

【実施内容】

・受講生に分かりやすく研究成果を伝えるために、また受講生に自ら活発な活動をさせるためにプログラムを留意、工夫した点

実験の背景に関連した調べものを参加者に事前に課した。北東北の生徒は特におとなしいので、参加者に発言、場合によっては皆の前に出て来て板書し説明するよう促した。

・当日のスケジュール

9:30-10:00 受付

10:00-10:15 オリエンテーション(プログラム紹介、科研費の説明、担当者紹介)

10:15-11:00 講義「PCRとDNA鑑定の原理」

11:00-12:30 実験(第一部)「DNAの採取、抽出とPCR反応」(途中適宜休憩)

12:30-13:15 昼食、休憩

13:15-15:00 実験(第二部)「電気泳動による解析」(途中適宜休憩)

15:00-16:30 討論「実験結果の解釈、DNA鑑定の可能性と限界」、まとめ

16:30-17:00 アンケート記入、未来博士号授与式

17:00 終了・解散

・実施の様子(図、写真等を用いてわかりやく記入すること)



実験の背景説明



口腔粘膜細胞の採取中



船崎学部長より未来博士号の授与

・事務局との協力体制

研究推進課職員が日本学術振興会との連絡調整、提出書類の確認・修正等、及び委託経費の管理を行った。また、事業実施に係る庶務及び広報活動は、理工学部運営グループと実施代表者が協力して行った。

・広報活動

アンケートによると、当プログラムを知ったきっかけが、高校の先生であるという回答が多かった。これは即ち、100校前後の高校へのパンフレットなどの送付、および高校生物教員のメーリングリストへの情報提供が効果的であることを示している。

・安全配慮

実習の安全確保も兼ねて、受講生4人に1人の割合で実施協力者をつけて実験を実施した。また、万が一に備え、短期のレクリエーション保険で受講生と実施協力者をカバーした。幸い、軽微なものも含め事故は発生しなかった。

・今後の発展性、課題

5年ぶりに同じテーマでプログラムを実施した。前回は、内容を盛り込みすぎたので、今回は内容を減らして行った。その結果、前回よりは丁寧な実験指導を行うことができたが、それでもなお、実験のまとめが駆け足となったので、今後、更に改善していく必要がある。

【実施分担者】

なし

【実施協力者】     3    名

【事務担当者】

荒谷 直美 学術研究推進部 研究推進課・主任